

第4回文化財防災意見交換会を開催しました（2016/10/29）

テーマ：文化財防災、地域連携、災害記録
場所：宮崎県宮崎市

2016年10月29日、宮崎県宮崎市において、科学研究費基盤研究（C）「津波被害を受けた民間所在歴史資料の歴史情報保存に向けた基礎的研究」（代表；天野真志）の企画で、「第4回文化財防災意見交換会」を開催しました。「文化財防災意見交換会」とは、各地域単位で実施される地域歴史資料保存や防災対策の取り組みについて、当該地域の関係者と情報交換をおこなう会で、地域特有の課題や特徴的な取り組みを共有するなかで、相互の新たな展開を目指しています。

第4回目となる今回は、宮崎県宮崎市で活動する「宮崎歴史資料ネットワーク」との協議をおこない、会には天野真志助教（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）の他に国内各地の文化財関係者も参加し、宮崎の関係者も含めて合計18名で開催しました。

第1回目の開催地でもある宮崎では、地震・津波対策としての多角的連携に加え、活動の担い手を増やす日常的な取り組みが特徴的です。会では、鹿児島県の関係ネットワークとの連携も踏まえ、地域的な連携と県域を越えた広域連携の重層的な宮崎の取り組みについて紹介を受け、宮崎や鹿児島島の取り組みを踏まえた今後の文化財保存・防災のあり方について議論をおこないました。



天野真志助教



会場の様子



会場の様子

文責：天野真志（人間・社会対応研究部門）